



岩崎元郎さんで行く“地球を遠足”&『山の遠足』

ぶらんぶらん通信

2018年 秋号

チョー暑かったり、次から次へと台風が発生したり、大雪山に雪が降ったり、涼しくなっていたら、猛暑がぶり返したり、地球が迷走しています。それでも、そこに山はあります。これだけ暑くても、山の頂上に立って爽やかな風にほほを撫でられると、心の底から気持ちよさを感じます。生きていることを実感します。山っていいなあ。

若い頃はバリバリ登っていましたが、若くなくなると足の上がりが悪くなります。それっていいことです。足が上がらなくなる分、時間的にも経済的にも余裕ができてきます。その余裕を活用するベストの場が、海外の山旅“地球を遠足”、国内の山旅『山の遠足』です。2005年3月に現社長、芹澤健一氏の肝いりでスタートした“地球を遠足”は、7月のポルトガルのアゾレス諸島で94回目を数えました。

3月28日がぼくの誕生日で、2005年は還暦を迎える年でした。スタート時点では、まだ“地球を遠足”という命名はされていなかったのですが、第1回目は「アンナプルナ・ダウラ

ギリ展望トレッキング」で、ツアーリーダーは芹澤氏、3月24日に成田からカトマンズに飛びました。トレッキング3日目、28日に泊まったロッジの一部屋をツアーリーダーがラリガラス(ジャクナゲ)で飾り、ぼくの誕生日と還暦を盛大に祝ってくれました。忘れられない思い出です。2007年9月、6回目になる地球を遠足では、グランドサークルを堪能しました。グランドキャニオンは豪快、ブライスキャニオンは繊細、アンテロープキャニオンは不思議な地下の迷路でした。12回目は2009年3月のハワイ、全員登ったマウナケアのてっぺんで、ハッピーバースデーの歌が流れ、ケーキが飛び出してきたのには感激。ツアーリーダーの橋本香織さんはまるでツアーの魔法使いとしても知られる素敵な女性です。同年11月はエジプト～ヨルダンの旅、ペトラ遺跡に感激、また行ってみたいと思っています。46回目は台湾五岳の一座「南湖大山」、玉山や雪山がよくのぼられますが、南湖大山は、日本人には知られざる岩崎イチョシの山。2014年はツエルマットでスキー、2015年に

はマナスルを仰ぎ見に行ってきました。2016年1月にはカンボジア、71回目になる“地球を遠足”で、アンコール遺跡群を訪ねました。新春だったせいか、結婚式の宴席が幹線道路の半分くらいまでしゃしゃりでてきちゃって盛り上がっていました。トイレタイムでバスから降りたメンバーが、披露宴に引っ張りこまれちゃって、・・結局ただ酒にあずかってしまった。

かくて回を重ね、94回ポルトガルのアゾレス諸島のハイキングを無事終了、7月13日に成田に戻ってきた。8月、9月は休憩。次回、95回“地球を遠足”は、10月10日(水)～17日(水)「世界遺産の島・コモド3島ハイキングとボロブドゥール遺跡8日間」である。靴マークは2個だから、だれでも、無理なく楽しくご参加頂けます。コモドドラゴン以外にも、見所はたくさんあります。実はぼくもはじめての所です。一緒に盛り上がって、はしゃいじゃいましょう。



岩崎 元郎 (いわさき もと郎)



奄美大島 (3月 鹿児島県)



南フランス (4月 フランス)



月出山 (5月 韓国)



カナリア諸島 (6月 スペイン)

～歩いて健康、登って元気!～ 岩崎元郎さんの健康登山講座

全国津々浦々の会場で、年間3回の開催で岩崎元郎さんが山を楽しむために役立つ知識や安全登山のための留意点などを講演します。協賛各社から時計や登山靴、ザックなどの豪華商品が当たる抽選会もお楽しみください。

《北海道》北斗会場

- 日 時: 10月5日(金) 18:00～20:00 ※開場17:30
- 会 場: 北斗市総合文化センター「かなで～」(小ホール)
 - 第1部: 「山に登って元気になろう」
 - 第2部: 【対談】岩崎元郎氏×坂口一弘氏(ほっかいどう山業紀行著者)

※入場無料、事前にご予約が必要です。詳しくは東京本社へお問い合わせください。

《福井県》福井会場

- 日 時: 12月16日(日) 13:30～15:30 ※開場13:00
- 会 場: 福井まちなか文化施設 響のホール
 - 第1部: 「山に登って元気になろう」
 - 第2部: 【対談】岩崎元郎氏×山岳エッセイスト増永迪男氏

※入場無料、事前にご予約が必要です。詳しくは名古屋営業所へお問い合わせください。



旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業第490号/一般社団法人日本旅行業協会 正会員 ●ポコド保証会員
ALPINE ツアー サービス 株式会社

東京	〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-11(第7東洋海事ビル4階)	☎03(3503)1911	FAX.03(3508)2529
大阪	〒550-0003 大阪市西区京町堀1-4-3(TCF肥後橋ビル2階)	☎06(6444)3033	FAX.06(6444)3032
名古屋	〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-23-2(第3千福ビル3階)	☎052(581)3211	FAX.052(561)8338
福岡	〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-2-8(セントラルビル5階)	☎092(715)1557	FAX.092(715)0826
広島	広島サービスステーション(大阪支店転送電話)	☎082(542)1660	
仙台	仙台サービスステーション(東京本社転送電話)	☎022(265)4611	
北海道	北海道地区総代理店(株)りんゆう観光 〒060-0909 札幌市東区北9条東2丁目	☎011(711)7106	FAX.011(731)1456

営業時間のお知らせ
●平日: 9:30～18:30 ●土日祝: 定休

りんゆう観光営業時間 ●平日、土曜日、祝日: 9:00～17:00 ●日曜: 定休



“地球を遠足”メンバー紹介

“地球を遠足”は14年目に入りました。岩崎元郎さんとお客さま皆さままで作り上げてきた“地球を遠足”と『山の遠足』を、これからも、もっともっと楽しんでいただけるように、チーム・スタッフ一同がんばってまいります。どうぞよろしくお願いたします。



岩崎 元郎 (いわさき もとお)

日本が元気を取り戻すために「一億二千万人総登山者化計画」を提唱。『山登りを始めたら読む本』他、『山で失敗しない10の鉄則』、『ぼくの新しい日本百名山』、『今そこにある山の危険』、『間違いだらけの山登り「知らなかった」ではすまされない62項目』など著書も多数。無名山塾主宰、登山インストラクター。



芹澤 健一
(せりざわ けんいち)
東京本社

第1回目の“地球を遠足”ネパールに同行してから14年。今夏はアゾレス諸島に同行し“地球の遠足”の楽しさを再認識する。



山田 勝
(やまだ まさる)
東京本社

岩崎さんの長年の登山経験をもとに一味違ったコースと年齢に応じた安全でゆっくりな旅を、これからもお届けしてまいります。



川高 雄
(かわたか たかお)
東京本社

100回へ向けて“地球を遠足”らしい楽しい企画を考案中。初めての方も2度目以上の方もきっと素敵な仲間に出会えるはずです。



寺井 信之
(てらい のぶゆき)
東京本社

“地球を遠足”100回記念に実施する南極半島クルーズが間もなく発表となります。シリーズ集大成の企画ですのご期待ください!



林 知篤
(はやし のりあつ)
東京本社

10月はコモド・ドラゴンで有名なコモド島とジャワ島ボロブドゥール遺跡を訪れます。まだ間に合いますのでお申込みください!



白旗 美紀
(しらはた みき)
東京本社

いよいよ100回が目前迫って来ました!益々楽しい企画にご期待ください。今年最後の遠足、12月の台北温泉には是非ご参加ください!



橋本 香織
(はしもと かおり)
ツアーリーダー

4月に南フランスのコースに同行しました。100回記念に向けて遠足ファンの皆さまと一緒できることを楽しみにしています。



竹森 壮孝
(たけもり まさたか)
大阪支店

“地球を遠足”では私の故郷長崎からパタゴニアまで多くのツアーに同行させて頂きました。これから何処へ一緒できるか楽しみです。



塚本 悦子
(つかもと えつこ)
大阪支店

12月の“地球を遠足”はどこか懐かしく親しみのある台湾です。ハイキングと温泉を楽しみ、岩崎さんと一年を締めくくりましょう。



前田 拓哉
(まえだ たくや)
名古屋営業所

岩崎さんと一緒に歩きながら、新しい発見をしませんか。企画中のラオスやバルカン半島などまだ見ぬ国やエリアへ飛び出しましょう。



宇津木 健
(うつぎ けん)
名古屋営業所

“地球を遠足”を元気に盛り上げます。12月16日に福井市で「健康登山講座」を開催します。お近くの方はぜひご来場ください。



渡部 秀樹
(わたなべ ひでし)
福岡営業所

岩崎さんを中心にゆっくり安心でアットホームな独特のチームワークが育まれてきました。まさに「元気を取り戻す」企画です。

2018年 第91回 4月19日出発 陽光あふれる南フランス・ハイキングとサント・ヴィクトワール山登山 8日間

文：橋本 香織 (ツアーリーダー)

この春の“地球を遠足”『南フランス』はツアータイトル通り、陽光あふれ、キラキラと光る紺碧の海を眺めながらのハイキングとなりました。前半は花市場が有名なニースに滞在しコートダジュールの山歩きです。まず最初に赤い岩山レステレル山塊でラベンダー、アマポーラ他、色とりどりの花々が咲くトレイルをハイキングしました。その後、数々の芸術家の心を掴んだサンポール・ド・ヴァンスの散策を楽しみました。

翌日は岩崎さんも憧れたフランスの名クライマー、ガストン・レビファを育てた岩場のある『カラंक』へ。久しぶりの好天の日曜日ということで、カラंकはたくさんの人で溢

れていました。大混雑の1つ目の入江を越えると、登山者はぐっと減り、一時間ほど松林を歩くと視界が開け、白い岩壁とエメラルドグリーンが入江が現れ、皆さんからため息があがりました。

後半はマルセイユへ移動し、プロヴァンス地方の山と町を巡りました。マルセイユからいくつものオリーブ畑、ブドウ畑の丘を越えると、ひととき大きな山が見えてきました。セザンヌが愛したサン・ビクトワール山です。前半は樹林帯でゆっくりと標高を上げていき、後半は岩場をジグザグで登って行きます。樹林帯と岩場では咲く花も違い、ここでもたくさん種類の花を見ることができました。

サン・ビクトワール山は1,000mほどの山ですが南面は切り立っているの、なかなかの高度感でした。下山後はセザンヌがスケッチした場所から先程登ったサン・ビクトワール山を眺め、アトリエを訪れたあと、エクサン・プロヴァンスを散策し、マルセイユに戻りました。南フランスはゆったりとした空気が流れていて、人々は自然と近いところで生きていました。海の幸、山の幸の素材を生かした南フランス料理はとても美味しく、地ビール、ワインがすすみました。南フランスにはまだまだ良いところがたくさんありそうだと、岩崎さんと再訪を誓ったのでした!

A votre santé !



▲セザンヌのアトリエで



▲カラंकの美しい海を背にポーズ!



▲赤い岩山レステレル山塊を歩く



2018年
第92回 5月10日出発 ツツジ咲く月出山登頂と辺山半島 4日間

文:松村 亮太(東京本社)

第92回の“地球を遠足”は、韓国と北朝鮮の歴史的な南北首脳会談が開催された直後の5月上旬にお隣の国・韓国に行きました。ツツジの群生が美しい漢拏山(ハルラサン)や、紅葉が錦織のように美しい雪岳山(ソラクサン)など、韓国が世界に誇る山々がある中で今回訪れたのは月出山(ウォルチュルサン)です。あまり知られていない山ですが、韓国の登山愛好家の間では玄人好みの山として良く知られています。

月出山(天皇峰)の標高はわずか813mにもかかわらず、奥秩父山塊の瑞牆山や小川山で見られるような花崗岩の岩峰が幾重にも重なっているため、歩き応えのある主稜線を縦走しながらアルペン的な雰囲気も

満喫できます。天気が良く主稜線からは海岸線を遠望でき、アルペン的な山にあって海が近くにあること自体が非現実的に思え、とても新鮮な感覚をおぼえました。今回はちょうどツツジが見頃を迎えていたため、汗がにじむハードな縦走の中でも、皆さん立ち止まってはツツジを愛でながら写真撮影に夢中になりました。

今回の“地球を遠足”は、日本の飛鳥時代に海を渡ってきた渡来人の故郷・旧百済(くだら)にあたる韓国西南部を巡る山旅で、世界遺産の公州観光をはじめ、特産品を使った韓定食やナクチ(手長蛸)、カルビチム(骨付きカルビ)といったボリューム万点(!)の韓国料理も楽しんだ4日間でした。

観光客が到着するソウルの仁川(インチョン)国際空港内には、韓国を代表する山々のポスターがいくつも展示されておりました。そして高速道路の主要サービスエリアには登山専門用品の店舗が構えており、健康志向が高まっている韓国では数年前から登山ブームが続いております。富士山や日本アルプスでは韓国からの登山者を見かける機会も多く、今回は岩崎元郎さんと“地球を遠足”のメンバーで韓国の山々を訪れ、お互いの登山愛好家たちが隣国の山々を楽しんでいるという素晴らしさを強く感じた山旅ともなりました。まだ知られていない韓国の名峰を次回の“地球を遠足”でも企画していきます。



▲ツツジ咲く月出山の稜線を行く



▲月出山の最高峰・天皇峰(813m)にて



▲世界遺産・公山城を観光

2018年
第93回 6月3日出発 スペイン最高峰登頂と花咲くカナリア諸島 10日間

文:白旗 美紀(東京本社)

6月に大西洋に浮かぶスペイン・カナリア諸島へと岩崎さんと10名のお客さんと旅してきました。日本ではまだ馴染みの薄い場所ですが、ヨーロッパでは常春の楽園として人気のあるエリアです。“地球を遠足”では、大好評だった昨年に続きカナリア諸島は2度目の訪問となり、スペイン最高峰テイデ山を擁するテネリフェ島、ラゴメラ島、ラパルマ島の3島を訪れました。

火山地形の宝庫として世界遺産に指定されているテイデ国立公園の中心には、まるで富士山のような稜線を持つテイデ山が聳えています。島は貿易風の影響で標高1,500mを越えると雲は一切なく真っ青な快

晴が広がります。“地球を遠足”では、特別企画としてロープウェイを利用し頂上を目指しました。ロープウェイで3,550mまで一気に標高を上げると多少息苦しく感じましたが、頂上まで標高差170mを一步一步と登り、無事全員でテイデ山(3,718m)の頂上に立つことができました!眼下に広がる雲海と真っ青な大西洋が印象的でした。テイデ山全員登頂万歳!!

登山のあとはカナリア諸島の魅力を満喫しました。オロタバでは、年に一度のフラワーカーペット祭を見学しました。生花をふんだんに使い、細かな表現で陰影まで鮮やかに描かれる様子は実に見事でした。

今回は7つの島からなる諸島のうち3島を訪れましたが、島それぞれに自然環境や植生が異なり、様々な表情を見せてくれました。火山地形のテネリフェ島、太古の原生林が茂り深い谷の印象的なラゴメラ島、「美しい島」と愛称で呼ばれる豊かな緑が輝くラパルマ島。どの島も穏やかな雰囲気に包まれ花々が咲き誇り、楽園そのものでした。大航海時代のカナリア建築がそのままに残るカラフルな街並みや、新鮮な海産物やカナリアワインなど、その魅力は数えればキリがありません。岩崎さんと一緒にカナリア諸島の自然、文化ともに堪能した楽しい10日間の旅となりました。



▲テイデ山(3,718m)に全員登頂!



▲オロタバのフラワーカーペット祭り



▲雲海の続くラパルマ島